

学生の学生による学生のための 教養講座プログラムについて

2024.1.31

学生の学生による学生のための教養講座プログラムについて

1. 目的

- ・若い世代の人材育成プログラムの展開（持続可能な方式）
- ・国際高等研究所・けいはんな学研都市の事業活動の情報発信

2. 実施体制

- ・主催 公益財団法人 国際高等研究所
- ・共催 けいはんな学研都市「大学・研究機関」共創会議

3. プログラムの概要

(1) テーマ：社会に求められる人材の育成

- ・求められる人材A… 社会課題・科学技術に関心のある人材
- ・求められる人材S… 変化に柔軟に対応し、自ら主体的に考え、動ける人材、社会のどの分野でも活躍できる人材

(2) プログラムの教材

- ・学研都市で取組む最先端研究（詳細は別紙のとおり）

(3) プログラム内容

- ・人材A向けプログラム⇒「学生の学生による学生のための教養講座」科学イベント
- ・人材S向けプログラム⇒「学生の学生による学生のための教養講座」実行委員会

学生の学生による学生のための教養講座プログラムについて

4. 「学生の学生による学生のための教養講座」科学イベント

(1) 開催予定日

- ・ 2024年 3月20日（春分の日）

(2) 対象者

- ・ 中学生、高校生、大学生
（社会課題・科学技術に関心を持つ可能性のある潜在層）

(3) プログラム手法

- ・ 先端的な研究テーマに触れることにより、科学技術に関心を持つきっかけとする。
- ・ 社会課題に真剣に取り組む研究者の姿に接することにより、社会課題に関心を持つきっかけとする。
- ・ 実施内容を大学生・大学院生（実行委員会メンバー）が中心となって企画し、若い世代が関心を持ち参加しやすい形式とする。

(4) 主な実施内容

- ・ 資料1のとおり

学生の学生による学生のための教養講座プログラムについて

5. 「学生の学生による学生のための教養講座」実行委員会

(1) 実施機関

- ・ 2023年9月～2024年3月

(2) 対象者

- ・ 大学生、大学院生（社会課題・科学技術などに関心を持つ層）

(3) プログラム手法

- ・ 科学技術・社会課題に関心のある学生が事業運営に参加し、企画立案から運営まで、自ら考えて、主体的に取り組むことで、興味・関心の広がり、行動・実践の広がりを促す。
- ・ 参加学生と学研都市の研究者とのミーティングを実施し、学生が研究者の考えに直接触れることができる機会を提供する。
- ・ 複数の大学からの学生の参加を促し、参加者に多様な背景を持つ同世代の学生と交流する機会を提供する。

(4) プログラム参加者

- ・ 資料2のとおり

学生の学生による学生のための教養講座プログラムについて

6. 国際高等研究所と「大学・研究機関」共創会議の協力体制

- (1) プログラムの実施 ・ 国際高等研究所
- (2) 研究者・研究テーマのデータベース化（資料3のとおり）
 - ・ 推進機構、(株)けいはんな
- (3) 学研都市の研究者との連絡（研究テーマの解説、学生への助言などの依頼）
 - ・ (株)けいはんな→参加大学・研究機関（研究支援部門）
- (4) 学生への情報発信（プログラムの紹介、参加募集など）
 - ・ (株)けいはんな→参加大学（学生支援部門）
 - ・ プログラム参加学生のSNS発信（インスタグラム、Xなど）
- (5) マスコミへの情報発信（プレスリリースなど） ・ 推進機構
- (6) 共創会議の概要 ・ 資料4のとおり

学生の学生による学生のための教養講座プログラムについて

7. プログラム展開イメージ

「学生の学生による学生のための教養講座」実行委員会
(2023年9月～2024年3月)

(対 象)

大学生、大学院生
(社会課題などに関心を持つ層)

(募集方法)

- ・各大学の学生支援部門を通じて行う。
- ・2年目以降は前年のプログラム参加者へも告知

「学生の学生による学生のための教養講座」科学イベント
(2024年3月20日開催予定)

(対 象)

中学生、高校生、大学生
(社会課題などに関心を持つ可能性のある潜在層)

(運営方法)

実行委員会メンバーが中心となって運営

(募集方法)

- ・各大学の学生支援部門を通じて行う。
- ・2年目以降は前年のプログラム参加者へも告知
- ・事項委員会メンバーから情報発信 (SNSなど)

2024年1月31日

「学生の学生による学生のための教養講座」科学イベント 企画ドラフト

1. 企画概要

(1) テーマ

- ・研究をもっと身近に感じてもらえるイベント、ロールモデルの提示によって、中高校生、大学1、2回生に、学研都市や研究者という生き方を知ってもらう。
- ・身の回りに知識が溢れていることを思い出してもらい、学ぶことの楽しさを再発見してもらう。

(2) プログラム内容

- ・紹介する研究テーマ：学研都市で取り組む最先端研究
- ・対象者：中学生、高校生、大学生

2. 開催内容

(1) 講演会

企 画：講演会と質疑応答。また、講演内容に関連した体験会。(60分)

狙 い：体験型のプログラムを取り入れることによって、より最先端の研究テーマを知識だけでなく、身体を通して学ぶことで身近に捉えるきっかけとする。

体 制：研究者1人、委員会メンバー2人、参加者多数

テーマ：「大学で学ぶとは何か」、「研究者という職業」、「自身の研究」などについてざっくばらんに話していただく」

当日の流れ：

- ① 委員会メンバーによる企画の説明。(5分)
- ② 研究者の方に、自己紹介や研究者の道に進んだ理由、高校生がイメージできるような「研究すること」は何か等についての講演。
(15分：インタビュー形式)
- ③ 研究内容についての講演。(15分)
- ④ 質疑応答。(10分)
- ⑤ 研究内容の体験。(15分)

(2) パネルディスカッション

企 画：ディスカッション(70分)とブレイクタイムでの交流会(30分)

狙 い：共通のテーマに対する、複数の分野の最先端の取り組みを知るとともに、研究者の思考法に触れてもらう。

研究者との交流を通じて、自らの進路選択の参考材料にしてもらう。

体制：研究者2人、司会（実行委員会メンバー）、参加者多数

テーマ：「ロボットと人間の未来～協働、結婚、友情～」または「未来への遺産としての食文化～若者へ伝えたい食の伝統～」

当日の流れ：

- ① 司会による企画の説明（5分）
- ② 自己紹介や研究内容など（10分×2人）
- ③ 対談開始（20分）
- ④ 途中から、参加者からの質問を受け付ける（20分）
※コメントを拾いながら、または参加者も交えての対談。
- ⑤ 司会による終わりの会・移動（5分）
※参加者はディスカッションで抜けるのもOK。
- ⑥ ブレイクタイムでの交流会（ディスカッション終了後30分）

（3）ブース展示

企画：各ブースを学生で運営。

狙い：先端的な研究テーマに触れることにより、科学技術に関心を持つきっかけとする。

研究者のバックグラウンドを知り、自分の進路やキャリアの参考にしてもらう。

（4）クイズ

企画：スタンプラリー要素も取り入れ、施設見学もできる形にする。

来場時に参加者に回答記入シートを渡し参加は任意とする。

狙い：けいはんな学研都市に関するクイズの設置により、学生に当学研都市について知ってもらうきっかけとする。

（5）交流スペース

狙い：他の参加者と交流することで、参加で得られた知見をより深めてもらう。

大学生や大学院生と交流し、研究や大学生活について知ること、自らの進路選択の参考材料にってもらう。

当日の流れ：

- ・休憩所を兼ねて大学生活や進路について、来場した高校生・大学生が自由に交流する場を設ける。
- ・その場にいる委員会メンバーが積極的に交流を行う。

3. 開催時期 2024年3月20日（水） 春分の日

4. 開催場所 国際高等研究所

資料2

「学生の学生による学生のための教養講座」実行委員会メンバー表2023

氏名	フリガナ	性別	学校名	学部名	学年	出身地
		女性	京都大学大学院	農学研究科 (修士課程)	1年生	奈良県
		男性	京都大学大学院	農学研究科 (修士課程)	1年生	高知県
		男性	京都大学	農学部	4年生	大阪府
		女性	大阪大学	人間科学部	1年生	長崎県
		女性	大阪大学	基礎工学部	3年生	京都府
		女性	神戸大学	国際人間科学部	4年生	奈良県
		男性	神戸大学	国際人間科学部	4年生	奈良県
		女性	奈良女子大学大学院	人間文化総合科学研究科 (博士課程前期)	2年生	大阪府
		女性	奈良女子大学	生活環境学部	3年生	兵庫県
		男性	奈良先端科学技術大学院大学	先端科学研究科 (博士課程後期)	3年生	パキスタン
		男性	奈良先端科学技術大学院大学	先端科学研究科 (博士課程後期)	3年生	中国
		女性	京都府立大学	文学部	2年生	京都府
		男性	京都府立大学	生命環境学部	3年生	京都府
		女性	京都薬科大学	薬学部	6年生	京都府
		男性	同志社大学	理工学部	4年生	東京都
		男性	同志社大学	生命医科学部	4年生	大阪府

けいはんな学研都市「大学・研究機関」共創会議 研究者紹介映像リスト(テーマ順・撮影日順)

分野	大学・研究機関	名前(敬称略)	研究内容	研究者映像(校了)
ロボティクス	奈良先端科学技術大学院大学	松原 崇充	機械学習によるロボット・機械・プラントの自動運転化に関する研究	https://youtu.be/kQCMy1gz8Q
ロボティクス	大阪公立大学	高井 飛鳥	人の運動の理解と運動学習支援ロボット・リハビリテーションシステムの研究	https://youtu.be/2Lg71OocT5A
ロボティクス	奈良学園大学	前田 吉樹	ロボットによる歩行アシストが痛覚に与える効果の研究	https://youtu.be/EuLJ41qbcil
ロボティクス	大阪大学	小山 佳祐	ロボット用の非接触センサ(近接覚センサ)と磁石歯車アクチュエータの研究開発	https://youtu.be/RJq0gn0B2il
フードテック	大阪大学	ブトリ サスティア・ブラマ	メタボロミクスによる高価値食品・農産物の感覚・機能的向上	https://youtu.be/dV-ZIY7SDJo
フードテック	奈良先端科学技術大学院大学	渡辺 大輔	次世代発酵・醸造食品をデザインする研究	https://youtu.be/Z6Wu7u1l5P4
フードテック	京都大学	岩橋 優	ドローンを用いたダイズの生育量推定と生育阻害要因の探索	https://youtu.be/LTwz3yUyBW4
フードテック	京都大学	長坂 京子	ゲノム解析によるブルーベリーの種子数制御の研究開発	https://youtu.be/0hTL73ptTAg
フードテック	京都府立大学	武田 征士	環境循環型アグリシステムの構築:自然栽培と食用昆虫のコンビネーションに関する研究	https://youtu.be/_rA530QqQhl
フードテック	大阪公立大学	内海 ゆず子	画像処理に基づくブドウ栽培作業支援システムの開発	https://youtu.be/gGz_mTJg1mM
フードテック	奈良文化財研究所	庄田 慎矢	古代食SDGs:先史・古代の食と調理行動から持続可能性を考える考古生化学的研究	https://youtu.be/_TywjCTB08
ライフサイエンス	情報通信研究機構(NICT)	大竹 清敬	高齢者介護支援用マルチモーダル音声対話システムMICSUSの研究開発	https://youtu.be/faPvgMrtVek
ライフサイエンス	奈良先端科学技術大学院大学	末次 志郎	細胞外小胞と健康長寿社会に関する基礎研究	https://youtu.be/ABVpxCp5HTk
ライフサイエンス	奈良女子大学	久保 博子	健康で快適な生活を創造するための環境を備えた住環境について	https://youtu.be/koDGcw8EClo
ライフサイエンス	奈良県立医科大学	森 英一郎	分子の動きを見る独自技術による治療薬の研究開発	https://youtu.be/SY_9iDIPy3E
ライフサイエンス	量子科学技術研究開発機構(QST)	榊 泰直	小型がん治療装置(量子メス)のためのレーザー駆動型イオン入射装置の研究開発	https://youtu.be/1VEFozplSO0